



▲ 前列左から：井口貞明さん、田中敬二さん、西田英喜さん、西谷正浩さん、本上純也さん

令和3年度 香美町おいしいお米コンテスト

今年度も12月4日に村岡体育館にて、令和3年度香美町おいしいお米コンテストが行われました。

今年度は、町内から122点という多くの応募があり、一次審査（食味値）、二次審査（味度値）、最終審査（官能食味）が厳正に行われ、上位5名の方が表彰されました。おめでとうございます。

香美町では、毎年「香美町おいしいお米コンテスト」を実施しています。米農家の皆さんの日々の御努力で評価も上がっています。これからも多くの町民の皆さんに応募していただき、香美町のおいしいお米を全国にアピールしていきたいと思ひます。

香美町・農林水産課も全力で応援していきます。

- 最優秀賞(香美町長賞)
西田 英喜さん(村岡区日影)
- 優秀賞(但馬県民局長賞)
田中 敬二さん(村岡区板仕野)
- 優秀賞(たじま農業協同組合長賞)
西谷 正浩さん(村岡区大笹)
- 優良賞(香美町議会議長賞)
井口 貞明さん(村岡区寺河内)
- 優良賞(香美町農業委員長賞)
本上 純也さん(小代区佐坊)

本号の主な記事

- ◆頑張っている農家の皆さんの声…………… P2～4
- ◆農業委員活動報告…………… P4
- ◆広告…………… P5
- ◆シリーズその⑩ 我が村の自慢…………… P6
- ◆就任のあいさつ…………… P6
- ◆編集後記…………… P6



頑張っている 農家の皆さんの声

「自然薯」

香住区三川

山盛 和義さん

『私は、厳選された品種の自然薯を天然に近い環境で栽培している山盛です。この自然薯は、特有の粘りと糖度にこだわった栄養豊かなおいしいさのある山菜です。よりいっそう良い品質のものをお届けするように励んでまいります。』

贈答品・お歳暮用品には、山からの贈り物として珍しく、おいしく、消化酵素を多く含んでいる自然薯を、化粧箱に入れてご活用いただければ嬉しいです。』

これは、自然薯の販売でアピールしている名刺みたいなものです。

山での自然薯掘りは、子供のころから毎年の行事み

せつせと雁首を集めて種芋として植えていた。悪戦苦闘するも効果が薄く、収穫体験を目的に、公民館横に畑を借用しているが、思うようにならない。

そこで、町内の先駆者である香住区、村岡区の2人のKさんにご教示願いたく夫婦で尋ねた。

栽培容器、土、容器の布設、堀取りの簡素化、種芋の斡旋等々一から詳細に教えていただいた。

「雁首を種芋に？雁首は、総領の甚六みたいなもの、良いか悪いかだ。食べている部分を種芋にすると安定収穫につながる、雁首はほかすこと。」何たることか目から大きなうろこ。一事が万事であり、よって一からの出発が容易にできた。

冬寒い時に容器作りと入れる土(まさ土)のフレイかけ、春、種芋からの芽出し、容器の布設から定植と大忙しだが、目的があるから楽しくもある。

楽しみに環がかかる11月

からの収穫は、期待以上の出来で一安心。

平成26年11月、JAたじまが地域活性化に寄与するふれあい活動に助成金を支出する要領を制定。早速翌年、計画書を提出し採択されたので、ワクワクしながら栽培、活動の準備を進めた。



なく非常に残念。

来年は、後期高齢者ですが今まで以上の良品質の自然薯を栽培し、コロナの影響が無い状況で実施したいものです。

自然薯は、非常に繊細でデリケート。その上奥の深い大好きな作物ですから、一步一步前進と挑戦を続けていきたいものです。

JAたじま、2人の師匠、体験に参加してくれる多くの皆さん、スタッフなどで支援してくれる皆さん、ありがとう。今後もよろしく感謝とお礼を申し上げます。

「農業と狩猟について」

村岡区口大谷

今岡 重臣さん

道の駅ハチ北より入ってすぐの山間地集落、口大谷区。

水稲48アール夏野菜多品種少々ナス、ピーマン、ネギ生産農家です。畑作物には、自然農法目指して、ボカシ肥料を自宅にて製造(E.M菌、米糠、油粕、魚粉配合)。減農薬環境に配慮した安全を目指して、消



費者の方に提供できたらと少量ながら直売所等に出荷させてもらっています。

過去に自然薯を数十年栽培出荷したこともありましたが、平成16年9月、ツキノワグマとの出会い、格闘の末、九死に一生を得て、現在に至ります。

その年すぐに第一種銃猟免許を取得、農家の皆さんが年一度の収穫を目前に獣被害に遭う話を聞き、獣被害者を出さぬようにと及ばずながら協力しつつ楽しんでいきます。

人間は動植物の犠牲の上で生活しており尊命、一頭一頭感謝しながら止めさしをしていきます。今後は、後継者を育成していくことが一番の課題です。狩猟に関して共鳴される方は一報いただければ協力させていただきます。

有害捕獲員としてとりとめの無い話題で失礼しました。

「田園風景」

小代区城山

小代区城山農地保全組合

事務局 井口 晃さん

「田園風景が美しいというのは、そこに人の手がくわえられることで美しくなる」と言われる人がいます。それは自然の風景が美しいとは違うということらしいです。

そんな言葉を耳にして数日も経たない日に、小代区城山の壮年の方の「ここから、見える城山の田んぼ、どうかならんか!」との一声から田園風景の美しさを求めて米づくりが始まりました。

皆さんは、ご存じですか?小代の谷の矢田川沿いで「おじろスキー場入り口」手前の西側の田んぼが城山地区の農地の主な位置です。小代の谷は深く狭く物干し竿が掛かるようなところですよ。

米づくりを始めたと言っても米づくりの経験者は1人、その他の人は米汁(日

本酒)、麦汁(ビール)等呑むのが上手な人が多く、米づくりをやったことの無い人の集まりです。

なんせ、田んぼを見ました第一印象は、稲を作る面積(水張はり面積)と畦畔の面積が同じくらい有り兎に角草刈りが大変そうだなと感じました。それどころか、素人には考えられない作業の連続で、楽しむこともなく最初の意気込みが無くなるぐらいでした。

最初は、畦下の溝ほりをするのですが、秋の稲刈りに大きく影響することも知らずに、スコップ、ジョレンを手には「あーえら!」と言いつつながら溝ほり作業、稲刈りに後に片づけることも考えずに獣害から田んぼを守るための電気柵作業、田を耕す前にいい加減の肥料まき作業、田んぼを均平にするのを気にせずにトラクターを乗りまわす代掻き作業、「田植えはイベントだ!」

と言いつつながら泥だらけの田植え作業、何気なく進んでいきました。

そのあとが、大変な日々連続で畦畔の草刈りに追われながら、田んぼのなかの草「へい」にも追われ、雨や風で稲を倒され、とどめに鹿にも襲われ「アッ!」という間に1年が過ぎていきました。

とても、「田園風景が美しい」と言えるような状況まで達してなかったような気がします。それと、思わぬ誤算がもう一つ米は出来たものの、どう販売するかまで考えていなかったのが大誤算でした。

そんなこんなで1年終わって色々ありましたが、稲の花が咲き、朝露に濡れて光る稲穂が出てくるのを見た時、美しさにしばし見入ってしまった。

この時の、稲穂の美しさを忘れずに米づくりを続けていきたいなと思いましたが、2年目に入ると学習能力が有るわけでは無いですが少しづつ考えるようになりました。

仕事をしながらの米づくりなので、タイムリーに作

令和4年度 香美町農作業受委託標準料金

単位：円（消費税込）

作業種目	単位	種別	標準料金			備考
			整備田	30a区画	未整備田	
農 作 業	一日当たり 8時間		8,400			技術作業、機械持込の場合は別料金
ディスクローター	10a当たり		7,300	6,300	7,300	
耕 耘	10a当たり	1回目	7,300	6,800	8,400	
		2回目	5,300	5,300	6,300	
代 か き	10a当たり	1回耕耘後	11,600	10,500	11,600	荒かき・代かきを同時にする場合
		2回耕耘後	8,900	8,400	8,900	
荒 か き	10a当たり		6,300	6,300	6,800	
荒かき後の代かき	10a当たり		7,900	7,900	8,400	
機 械 田 植 え	10a当たり		9,400			
機 械 田 植 え (側条施肥機)	10a当たり		10,400			薬剤散布を含む。ただし、薬剤散布をしない場合も同額
刈 (バインダー)	10a当たり		9,400			倒伏、湿田の場合は3～5割増。すみ刈りは含まない。結束紐は受託者負担
刈 (コンバイン)	10a当たり		23,300	22,300	23,300	倒伏、湿田の場合は3～5割増。すみ刈りは含まない。籾の運搬料は10a当たり3,100円(距離により増減)
脱 穀 (ハーベスター)	一日当たり 8時間		15,800			
機 械 畦 ぬ り	1m当たり		110			
畦 切 り (片バイド)	1m当たり		70			
乾 燥	10a当たり		13,200			運搬などは委託者負担(10a未満も同額)
籾 摺 り	30kg当たり		540			運搬などは委託者負担
農 薬 散 布	10a当たり		2,100			農薬代は含まない
肥料・堆肥の散布	10a 当たり		3,100			堆肥又は土壌改良剤の散布。堆肥等代は含まない
畑 耕 耘	10a 当たり		8,100			

注) この料金はあくまでも令和4年度の標準であり、当事者双方で協議のうえ決定してください。
また、機械の運搬、溝切り作業、色彩選別作業等、掲載されていない農作業についても双方協議のうえ決定してください。

業を出来ないことが多々あり、どうしても作業が出来る人に荷重がかかっています。今は、それが一番の問題点です。
担い手というと、精神的にしんどくなるけど時間が空いた時に作業を少しでも手伝わってもらうことで、一人の役割分担も変わってくれば良いかなと思っています。悔しいことに今年も鹿に荒らされました。来年に向けての課題の一つです。



私たちのグループは、決して営農組合だと言えるような組織で無いのかもしれませんが、一人一人が何かを楽しみながら米づくりをしていると思います。例えば、草刈りを頑張るのは山登りのための足腰を鍛えるのに畦畔の傾斜が丁度良い。孫が米を「美味しい！」って言うてくれた。都会に嫁いだ姉が「米美味しいね」って言うてました。自分が米づくりに参加してい



▲和田山ジュピターホールにおいて。

「農地利用の最適化」の推進を通じて、地域農業の課題解決に貢献していくことが求められます。そのひとつに、地域の農地を将来にわたり活用・保全できるように、地域全体で農地の有効活用を図るための農地バンク（農地中間管理機構）の活用があります。

農業委員活動報告

「農業委員会ブロック別研修大会」

農業委員 井村 壽之

朝来市で開催された「農業委員会ブロック別研修大会」に出席しました。研修では、昨今、人口減少社会を迎え、地域農業の衰退、農村集落の疲弊が進んでいることから、これを

この制度は、集落あるいは小学校区などの複数集落を単位に、地域みんなで将来計画を話し合い、地域の合意のもと、活用すべき農地の範囲を決めてそのすべてを農地バンクが借り受け、担い手の状況や農地利用の（地域の話し合いによる農地利用の地区分け）意向に基づき、担い手や、営農継続を希望する自給的農家さんに農地を貸し付けるとともに、担い手と自給的農家さん、土地持ち非農家さんらが、営農や草刈り、水路管理等、それぞれの役割を担いながら、地域全体で農地の有効活用を進めようとするものです。

今回の研修大会で、農地の有効活用に向けて、県下各地でいろいろな取り組みがなされていると知りました。今回の研修で学んだことを、今後香美町の農業委員として、「魅力ある地域づくり」「魅力ある農業づくり」に活かし、頑張っていきたいと思えます。

みんなでいきいき！地域がいきいき！

いきいき農地バンク方式

<「いきいき農地バンク方式」イメージ>

地域の活用すべき農地を全て借受 → 農地バンク（農地中間管理機構） → ゾーニング&役割分担

★ゾーニングにより担い手や営農自作を希望する自給的農家への貸付け
★相続やリタイア時には担い手に農地を貸付け
★担い手（認定農家・集落営農法人等）、自給的農家等で集落協定等を締結し農地保全

公益社団法人兵庫みどり公社 TEL.078-361-8114 FAX.078-361-8128
一般社団法人兵庫県農業会議 TEL.078-391-1221

たんぼむらの問題を「いきいき農地バンク方式」で解決しませんか？

今までは農業を続けられて、やめたときには任せられるので、不安がなくなった。でも、借りられるうちは続けたい。でも、借りられないと、不安がなくなった。でも、借りられないと、不安がなくなった。

我が村の 自慢

シリーズ
その16



香住区『油良・間室』で続く美濃谷地蔵尊祭

毎年8月23日100年以上前から続く美濃谷地蔵尊祭。油良・間室地区の御詠歌隊が『美乃谷のはるばる奥の地蔵尊おめぐみ深きあらたなりけり』と詠み地蔵尊をたたえる。

24日には、大勢の参拝者は、1人1つの願い事をかなえてくれると伝えられる地蔵尊を前に所願成就を祈ります。

香住区油良 井村 壽之

▲ 御詠歌で地蔵尊をたたえる参拝者。

就任のあいさつ



村岡区長 瀬田中 一馬

〈担当地区〉
長須、味取、原、長瀬、山田、小城、境

村岡区境で畜産業を営む田中一馬と申します。

Iターンで香美町に来て21年、ここで農業ができてきているのは、「この町の農業を盛り上げてくれ！」と地域の方々のご支援を頂いたからだと思っています。現在の課題である後継者問題や遊休農地の利用など、若い目線でもお役に立てるよう頑張ります。若輩者ではありますが、よろしくお願いいたします。

編集後記

師走に入り早々の朝、庭先に出てみると真っ白の雪、いよいよ冬の到来です。

今冬の降雪長期予報は「ラニーニャ現象で近畿北部では降雪量が多くなる可能性がある」とのことです。

できることなら山では多く平地では少なくて春の農作業を早く始めることができるよう願っています。

今年度も「香美町おいしいお米コンテスト」に昨年より上位にと期待して応募しました。

(応募総数122件)

結果は、1次審査(食味値)

では『ランクS(食味値80点以上)』と同じでしたが、残念ながら3ポイントも落としてしまいました。

次回は、ランク上位者・講演者の話を参考に工夫を重ねて、『ランクSS(食味値85点以上)』上位を目指していこうと思っています。

今回の『農委だより』も「頑張っている農家の皆さんの声」へご寄稿いただいた皆様・情報部会員のご協力によりスムーズに発行できることになりました。ありがとうございました。

香美町農業委員会

情報部会長 門垣 日出男